

わたしごと×認知症

9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。

この日を中心に全国各地で認知症に関する啓発が実施されており、吉川市においても認知症への正しい理解を深める取り組みを行っています。

年を重ねれば誰もが認知症になる可能性があり、認知症はあなたにとっても身近な事柄です。この機会に認知症を他人ごとではなく、「わたしごと」として考えてみませんか？

吉川市はSDGsを推進しています



認知症とは

認知症とは、脳の病気などさまざまな原因により、認知機能(物事を記憶する、言葉を使う、計算するなどの脳の働き)が低下し、日常生活や社会生活に支障が出ている状態をいいます。

加齢による物忘れと認知症による記憶障害の違い

年を重ねることで、物忘れが目立ってくることは、多くの人が感じることですが、加齢による物忘れと認知症による記憶障害は違います。例えば、朝食をとったことは覚えていても、朝食の内容を忘れてしまうのは、加齢による物忘れといえますが、朝食をとったこと自体を忘れてしまう場合は認知症が疑われます。

「体験の一部を忘れる」↓加齢による物忘れ

「体験そのものを忘れる」↓認知症による記憶障害

認知症に早く気付く

認知症も他の病気と同じように早く気付くことが大切です。原因となる病気を見極め、早期に適切な治療を開始することで、進行を遅らせたり、症状を緩和できる場合があります。